

# 公開研究会「自然災害に対するレジリエンスと景観」

主催：日本建築学会都市計画委員会グローバル景観デザイン小委員会

日時：2023年2月20日(月)18:00～20:30

会場：オンライン開催(Zoom)

グローバルとローカルの境界を越えて、コロナ禍による人々のコミュニケーションとライフスタイルの変化、再生可能エネルギーの導入や環境保全の広がり、そして、相次ぐ自然災害に対応できるレジリエンスな地域づくり等、景観や都市デザインをめぐる状況は、未だかつて経験したことのない状況へと大きく変化しつつある。本小委員会は、急変するこれらの状況を踏まえた景観施策の枠組みについて、研究、課題抽出、提言することを目的に研究に取り組み、①アフターコロナ、②再生可能エネルギーの普及・環境保全、③災害に対するレジリエンスという3つのテーマを切り口に、グローバルとローカルの両方の視点から、今起きている現象の把握・整理を進めている。

既に①②の公開研究会を実施しており、今回は③災害に対するレジリエンスに着目して公開で議論を進める。登壇者から、防災対策や復興事業による、様々な災害に対するレジリエンスと景観について、地域の取り組みや海外の現状や課題、土木や建築との捉え方の違いなどを紹介いただき、今後の景観政策の見直しに向けた課題の整理を行う。グローバルな視点から自然災害に対するレジリエンスと景観について、議論を深めたい。

## ■プログラム

18:00-18:05	本研究会の進め方：松井大輔（司会、新潟大学准教授）
18:05-18:10	主旨説明：志村秀明（芝浦工業大学教授）
18:10-19:40	登壇者による事例説明
	① 尾野薫（宮崎大学講師） 「土木における減災アセスメントと景観」
	② 星野裕司（熊本大学准教授） 「河川の景観デザインとレジリエンス」
	③ 大窪健之（立命館大学教授） 「歴史に学ぶ減災の知恵と景観」
	④ 益尾孝祐（愛知工業大学准教授） 「歴史的風致の維持向上に資する建物再建」
19:40-19:45	休憩
19:45-20:25	ディスカッション
20:25-20:30	まとめ：松井大輔（前掲）

## ■申込に関する事項：

参加方法：当日 Zoom によりご視聴ください。開催前日までに、申込者へ Zoom 接続に必要な情報をメールでお伝えします。送付先のアドレスは、お申込み時に入力いただいたアドレス（会員の方はサインイン時のアドレス）にお送りします。

参加費：日本建築学会会員 1,500 円、会員外 2,000 円、学生（会員／会員外） 1,000 円

※登壇者より資料の提供があった場合のみ、研究会当日に参加者へデータを配布いたします。

定員：50名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み／事前クレジット決済のみ（申し込み締め切り 2月12日（日）24時まで）

申し込みページ：以下のページからクレジット決済で参加費をお支払いください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=674602>

問合わせ：日本建築学会事務局事業グループ・中村 TEL：03-3456-2057 E-mail：nakamura@aij.or.jp

## ■オンライン参加にあたっての注意事項

会員の方は申し込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方は申し込み時に入力したメールアドレス宛に、開催数日前に Zoom の参加用 URL をお送りします。

①視聴には PC やタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担になります。

②受信映像や講演資料の保存（画面キャプチャ、カメラ撮影等）、録音、再配布は禁止です。

③参加用 URL 等をシェアすることは固くお断りいたします。各自でお申し込みください。

④委員会の記録として録画を行いません。ご了承ください。ライブ配信のため、開催後の視聴はできません。

⑤Zoom は最新版への更新をお願いいたします。Zoom の使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできませんので、Zoom ヘルプセンターをご参照ください。

⑥参加者の環境やその時の回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は、本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解の上お申し込みください。なお、お申し込み後の返金はいたしかねます。